

令和2年度 進路だより

わくわくワーク

第7号

令和3年3月16日
富山県立しらとり支援学校
進路支援部

木々や花が芽吹き始める様子に、春の訪れを感じる季節となりました。今回は、3学期に行われた本校の進路支援に関する活動や高等部3年生の進路先等についてお知らせします。

「第2回インターンシップ推進委員会」(1月29日(金)開催)

インターンシップ推進委員会は、児童生徒一人一人に応じたよりよい進路支援に向け、企業や障害福祉関係者などの校外から専門の委員を交えて意見交換を行う委員会です。年2回開催されます。

第2回の委員会では、学校から昨年度の卒業生の進路先やアフターケアの状況、第2回就業体験の評価と課題を報告した後、卒業後の課題などについての意見交換を行いました。

各委員からいただいたご意見を一部紹介します。

余暇について

余暇が気持ちのバランスを整えて就労に良い効果を与える。家の手伝いは自立する心を養うことにつながる。同級生同士で集まる機会が少ないので、個人として楽しめる趣味を見つけていくとよい。

移動支援など福祉サービスを利用して、体験の幅を広げていくこともできる。家族だけで余暇を支援していくのではなく、外部機関を活用することも考えていけるとよい。

性教育について

一斉指導での性教育では教えたいことがしっかりと個々に伝わるのか心配と思われるが、「人を大切にする」、「自分の体を知る」、「相手を知る」という内容は他人と向き合う大切な要素であり大切な性教育である。

社会人としてどのような行動をするべきか話す機会をもったり、気になる人ができたときに相談できる人がいると助言を受けられたりすることを伝える。また、問題が大きくなる前に支援機関に情報を入れて連携し対処していくとよい。

学校在籍時の障害福祉サービス利用や相談支援専門員との連携について

相談ができる関係性の構築には時間が掛かるので、早いうちに障害福祉サービスを使って事業所や学校、相談支援専門員が連携し、情報をしっかりと引き継いでいけるとよい。

学校在学中に身に付けておくことよい力について

スキルを全部身に付けるのではなく、何が足りないかを考えると良い。働く上で実際に役に立つ、不足しているスキルを補っていくことが大事である。障害福祉サービス事業所と学校、家庭が連携してできることを増やすなど、課題となるところにアプローチを掛けていくことが大事になる。

頑張り過ぎたら行動障害になってしまうこともあるので、逃げてよいことや辛いときに辛いと言うなど、頑張らなくても相手が理解してくれる経験もさせてあげてほしい。

「高等部3年生 進路先の状況」

卒業生の門出をお祝いします。高等部3年生の進路先についてお知らせします。在校生の皆さん、保護者の皆様は、今後の進路の参考にしてください。

＜福祉的就労＞

【就労継続支援 A 型事業所】

株式会社PERSON'S 就労継続支援施設いずみ

【就労移行支援事業所】

ヴィスト株式会社 ヴィストキャリア富山駅前

【就労継続支援 B 型事業所】

特定非営利活動法人ひまわり ひまわり

特定非営利活動法人あかりハウス あかりハウス

社会福祉法人新川会 雷鳥苑

【生活介護事業所】

社会福祉法人白皇山保護園 ひまわりの郷

株式会社タカギコーポレーション 多機能型施設ジョブステーションさくら長江事業所

特定非営利活動法人 知的障害者の暮らしを考える会 わくわくファームきらり

社会福祉法人恵風会 富山市生活介護事業所 第2あすなろ

社会福祉法人新川会 さつき苑

社会福祉法人恵風会 富山市婦中生活介護事業所

社会福祉法人射水福祉会 いみず苑

社会福祉法人めひの野園 うさか寮

「主体的な進路選択にむけて」

教頭 山下裕市

感染症拡大予防が求められる中、皆様の温かいご協力のおかげで、高等部生徒の校外就業体験を実施し、進路先を決定する大切な経験を積むことができました。また、昨年12月には、障害福祉サービス事業所合同説明会を開催したところ、生活介護や就労継続支援など43の事業所、小学部・中学部・高等部の保護者60余名の参加がありました。事業所担当者と顔見知りになられた保護者の方も多くいらっしゃると思います。是非、事業所の見学につなげていただけたらと思います。

「百聞は一見にしかず」の言葉のとおり、進路先を決める時も、人から聞くよりも実際に見学したり体験したりして雰囲気を感じる事が大切だと思います。実際に自分の目で確かめる取組は、主体的に進路先を選択できる力を高めるかもしれませんね。

今年も、卒業生が地域の事業所でお世話になります。卒業生の皆様のご活躍を願うとともに、在校生の皆さんもあこがれの先輩を目指してそれぞれにあった進路先が見つけられるようなお手伝いのできる進路支援部でありたいと思っています。今後も、よろしくお願いします。